

令和4年度卒業時アンケート 【歯科衛生学科】

実施日	令和5年3月6日(月)
所属	歯科衛生学科 3年次 38/40名(回答率 95.0%)

【全体概要】

2021年から2023年までの3年間にわたり、15種類のジェネリックスキル(汎用的能力)を年次ごとに評価した。その結果、卒業時点での自己評価が高い傾向が見られた。

2021年から2023年にかけて、以下の能力が増加傾向を示した。短大生活で身についた能力では9種類、自己評価が低いと感じる能力では3種類、そして短大で強化・充実させたい能力では2種類である。短大生活で身についた能力が最も多かったのは、卒業時点での自己評価が高くなったためだと考えられる。また、専門知識(将来の仕事に関する専門的な知識)についても、短大で身につけた能力の項目でも増加傾向が見られた。これは学生自身が臨床実習などを振り返り、客観的に評価できるようになったためだと考えられる。強化・充実させたい能力のうち、感情制御力については、学生向けのメンタルヘルスセミナーなどを開催することで強化できると考えられる。

しかし、将来に向けての展望を考えると、学生自身はまだジェネリックスキルが不足していると感じていることが示唆された。

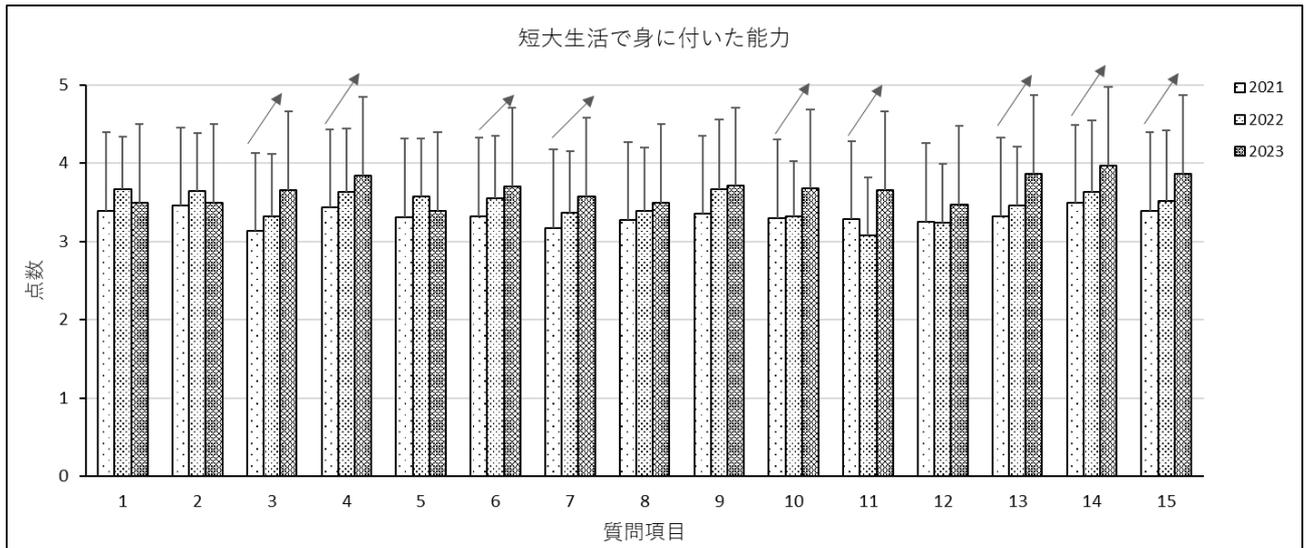
教育全般の満足度については、平均値が3.1から4.0の間であり、概ね満足していることがわかった。特に「人間性の面で適切な教育がなされていた」と「学修ポートフォリオは、あなたにとって有意義なものでしたか」という項目では、有意な増加傾向が見られた。学修ポートフォリオの実施方法や、教員からのコメントなどが適切だったと考えられる。

1. 15種類のジェネリックスキル(汎用的能力)について

2021年から2023年までの3年間にわたり、15種類のジェネリックスキル(汎用的能力)の年次変化を評価した。回答は、「持っていない・まったく思わない:1点」、「あまり持っていない・あまり思わない:2点」、「どちらともいえない:3点」、「持っている・思う:4点」、「十分持っている・強く思う:5点」とした。

1) 短大生活で身についた能力

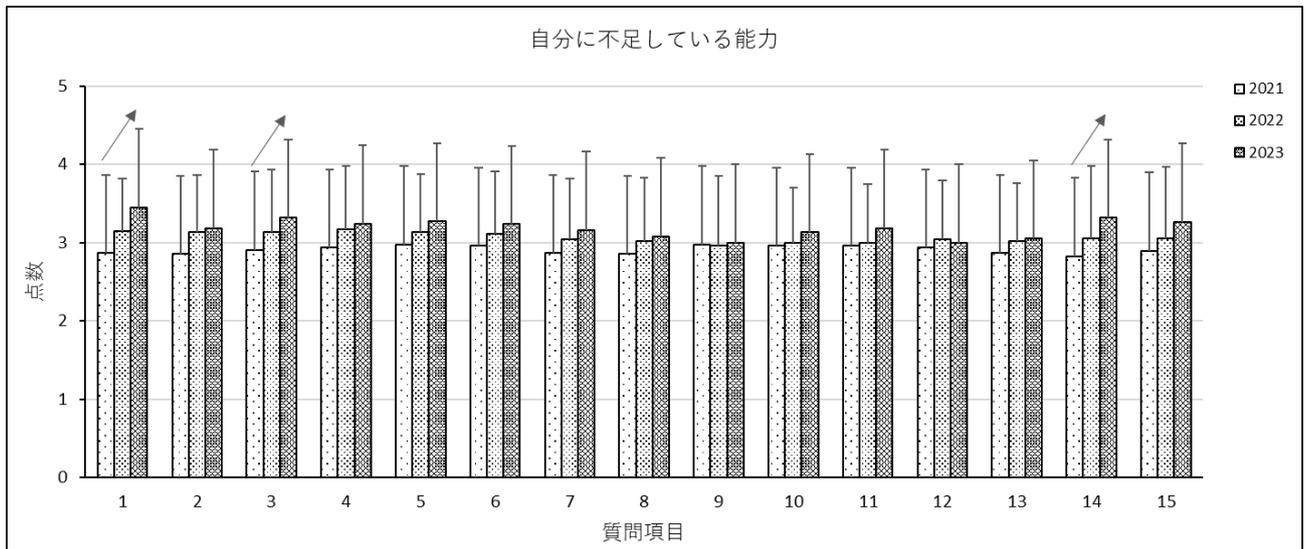
図1では、赤字で示したジェネリックスキルが有意な増加傾向を示した。専門知識(⑭将来の仕事に関する専門的な知識)と専門技術・技能(⑮将来の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ)は、学生が修得を実感できている割合が2021年と2022年でも高かったが、2023年にさらに増加した。



- ①円満な人間関係を築く力〔親和力：対人基礎力1〕
- ②人と協力しながら物事に取り組む力〔協働力：対人基礎力2〕
- ③目標に向かって人や集団をひっぱる力〔統率力：対人基礎力3〕
- ④自分の感情をコントロールする力〔感情制御力：対自己基礎力1〕
- ⑤やる気を維持する力〔自信創出力：対自己基礎力2〕
- ⑥良い行動を習慣として続けられる力〔行動持続力：対自己基礎力3〕
- ⑦情報を収集・分析して課題を発見する力〔課題発見力：対課題基礎力1〕
- ⑧課題解決のための計画を立案する力〔計画立案力：対課題基礎力2〕
- ⑨行動を起こし、最後までやりきる力〔実践力：対課題基礎力3〕
- ⑩文章の構成や要旨を的確に理解する力〔言語的処理力：処理力1〕
- ⑪データや数字をすばやく読み取る力〔数量的処理力：処理力2〕
- ⑫論理的に物事を分析・構築する力〔論理的思考力：思考力1〕
- ⑬独自のものの見方や考え方をする力〔創造的思考力：思考力2〕
- ⑭将来の仕事に関する専門的な知識〔専門知識：専門力1〕
- ⑮将来の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ〔専門技術・技能：専門力2〕

図1 2021～2023年度の短大生活で身についたジェネリックスキル（汎用的能力）の変化

2) 自分に不足している能力

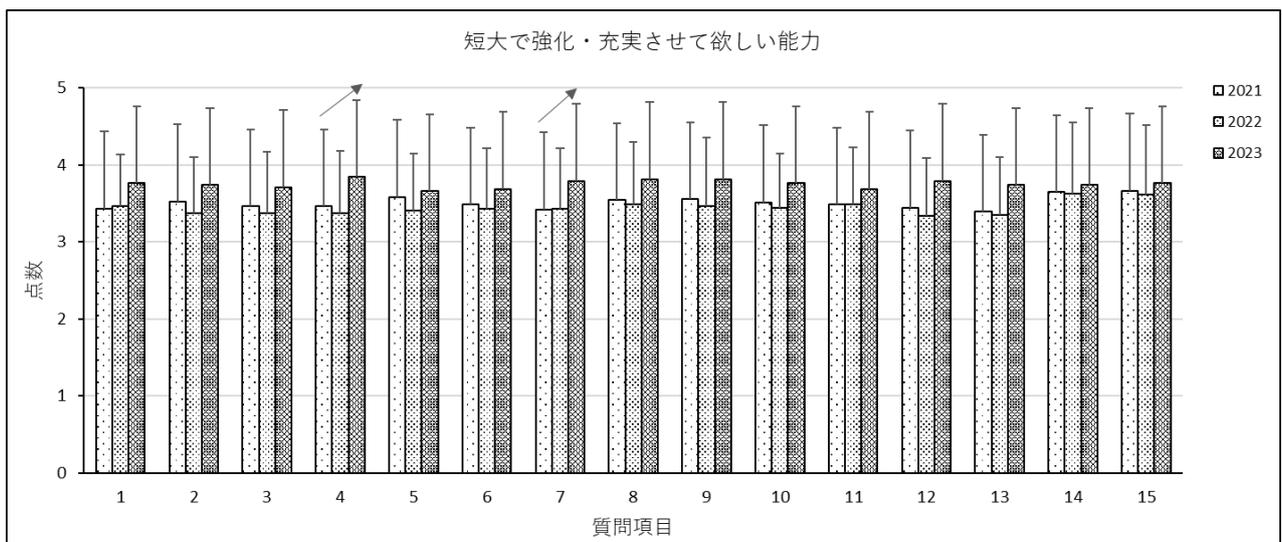


- ①円満な人間関係を築く力〔親和力：対人基礎力1〕
- ②人と協力しながら物事に取り組む力〔協働力：対人基礎力2〕
- ③目標に向かって人や集団をひっぱる力〔統率力：対人基礎力3〕
- ④自分の感情をコントロールする力〔感情制御力：対自己基礎力1〕
- ⑤やる気を維持する力〔自信創出力：対自己基礎力2〕
- ⑥良い行動を習慣として続けられる力〔行動持続力：対自己基礎力3〕
- ⑦情報を収集・分析して課題を発見する力〔課題発見力：対課題基礎力1〕
- ⑧課題解決のための計画を立案する力〔計画立案力：対課題基礎力2〕
- ⑨行動を起こし、最後までやりきる力〔実践力：対課題基礎力3〕
- ⑩文章の構成や要旨を的確に理解する力〔言語的処理力：処理力1〕
- ⑪データや数字をすばやく読み取る力〔数量的処理力：処理力2〕
- ⑫論理的に物事を分析・構築する力〔論理的思考力：思考力1〕
- ⑬独自のものの見方や考え方をする力〔創造的思考力：思考力2〕
- ⑭将来の仕事に関する専門的な知識〔専門知識：専門力1〕
- ⑮将来の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ〔専門技術・技能：専門力2〕

図2 2021～2023年度の自分に不足しているジェネリックスキル（汎用的能力）の変化

自分に不足している能力については、図2で示した。点数が高いほど、学生が自分に不足していると感じている。親和力（①円満な人間関係を築く力）と統率力（③目標に向かって人や集団をひっぱる力）と専門知識（⑭将来の仕事に関する専門的な知識）は、有意な増加傾向が見られた。専門知識（⑭将来の仕事に関する専門的な知識）は、短大で身につけた能力の項目でも同様の増加傾向が見られるため、学生自身が臨床実習などの振り返りで客観的に評価できていると考えられる。

3) 短大で強化・充実させて欲しい能力

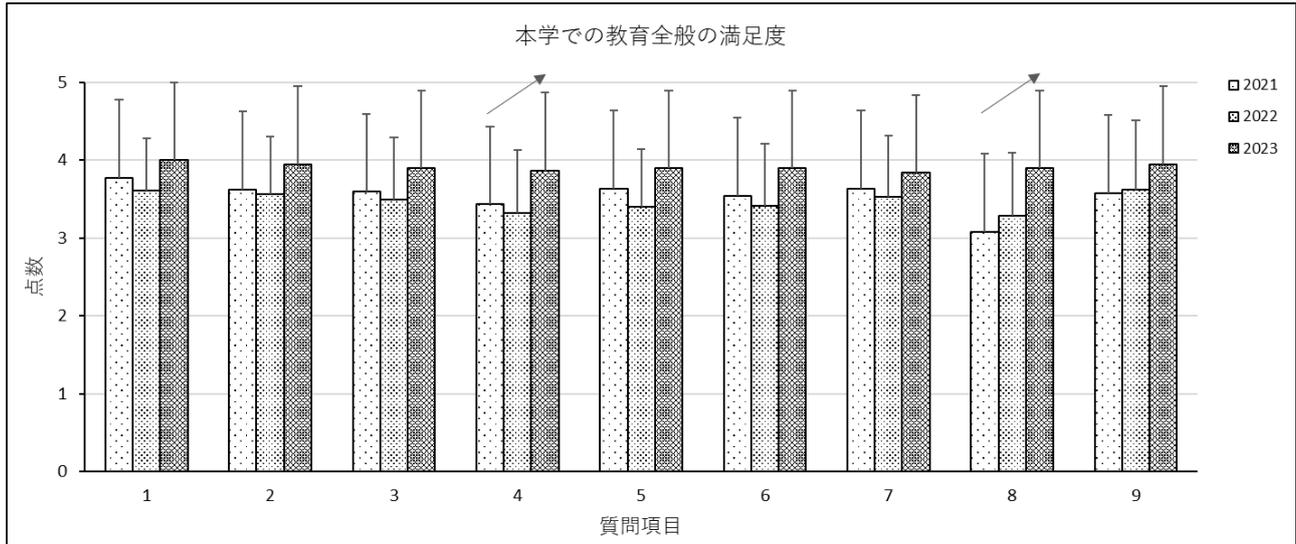


- | | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| ①円満な人間関係を築く力〔親和力：対人基礎力1〕 | ⑨行動を起こし、最後までやりきる力〔実践力：対課題基礎力3〕 |
| ②人と協力しながら物事に取り組む力〔協働力：対人基礎力2〕 | ⑩文章の構成や要旨を的確に理解する力〔言語的処理力：処理力1〕 |
| ③目標に向かって人や集団をひっぱる力〔統率力：対人基礎力3〕 | ⑪データや数字をすばやく読み取る力〔数量的処理力：処理力2〕 |
| ④自分の感情をコントロールする力〔感情制御力：対自己基礎力1〕 | ⑫論理的に物事を分析・構築する力〔論理的思考力：思考力1〕 |
| ⑤やる気を維持する力〔自信創出力：対自己基礎力2〕 | ⑬独自のものの見方や考え方をする力〔創造的思考力：思考力2〕 |
| ⑥良い行動を習慣として続けられる力〔行動持続力：対自己基礎力3〕 | ⑭将来の仕事に関する専門的な知識〔専門知識：専門力1〕 |
| ⑦情報を収集・分析して課題を発見する力〔課題発見力：対課題基礎力1〕 | ⑮将来の仕事の遂行に必要な技術やノウハウ〔専門技術・技能：専門力2〕 |
| ⑧課題解決のための計画を立案する力〔計画立案力：対課題基礎力2〕 | |

図3 2021～2023年度の短大で強化・充実させてほしいジェネリックスキル（汎用的能力）の変化

短大で強化・充実させてほしい能力については、図3に示した。感情制御力（④自分の感情をコントロールする力）と課題発見力（⑦情報を収集・分析して課題を発見する力）は、有意な増加傾向が見られた。感情制御力については、学生向けのメンタルヘルスセミナーなどを開催することで強化できると考えられる。

2. 本学での教育全般の満足度



- ① 専門領域における知識面での教育は適切であった。
- ② 専門領域における技術面での教育は適切であった。
- ③ 一般常識や教養が身についた。
- ④ 人間性の面で適切な教育がなされていた。
- ⑤ 自己（健康・体調）管理についての教育が適切になされていた。
- ⑥ コミュニケーション教育が適切になされていた。
- ⑦ 笑顔・挨拶を含めた接遇が身についた。
- ⑧ 学修ポートフォリオは、あなたにとって有意義なものでしたか。
- ⑨ 短期大学での教育は、総合的に満足であった。

図4 2021～2023年度の本学での教育全般の満足度の変化

各質問事項の回答を「まったく思わない：1点」、「あまり思わない：2点」、「どちらともいえない：3点」、「思う：4点」、「強く思う：5点」とした。

教育全般の満足度の平均値は、3.1～4.0と概ね満足していることが分かった。

特に「④人間性の面で適切な教育がなされていた」と「⑧学修ポートフォリオは、あなたにとって有意義なものでしたか」は、有意な増加傾向がみられた。学修ポートフォリオの実施方法と教員からのコメントなどが適切であったと考える。